

- 問1 インターネットで見つけた音楽や画像を、自分の調べ学習の発表で使いたいとき、どうするのがよいですか。
- 問2 大きな地震や台風などの災害が起きたとき、地域の人にすばやく情報を伝えるために、新聞社が発行する特別な新聞を何と呼びますか。
- 問3 映像がなく音声だけで情報を伝えるため、料理や運転など、ほかの作業をしながらでも耳から情報を得やすいメディアは何ですか。
- 問4 大きな災害が発生したとき、テレビ局は通常の番組を切り替えて、命を守るために重要な情報を伝える番組を放送します。これを何といいますか。
- 問5 ニュース番組の制作過程において、「編集会議」ではどのようなことが行われますか。
- 問6 宇宙にある機械を使って電波を送り、山の中や遠くの島など広い範囲に一度に情報を届ける放送を何といいますか。
- 問7 インターネットを使って自分の意見を世界中の人に向けて発信することの大きな強みは何ですか。
- 問8 テレビ番組を作るとき、視聴者が見やすい時間帯を考えたり、どのような内容の番組を流すかを決めたりする仕事をする人はだれですか。
- 問9 インターネットで情報を発信するときに、特に気をつけるべきことは何ですか。
- 問10 インターネットでの情報発信において、私たちが「責任を持つ」とはどのようなことですか。
- 問11 ニュースや天気予報など、いろいろな情報をわたしたちに届けるための手段を何といいますか。
- 問12 現代のテレビ放送で主流となっている、コンピュータの技術を使って情報を送る方式を何といいますか。
- 問13 テレビ番組の合間に流れる広告映像のことを何といいますか。
- 問14 インターネットを使って自分の考えや写真などを公開するとき、最も気をつけるべきことは何ですか。
- 問15 インターネットで見つけた情報を他の人に教えたり、広めたりするときに、最も気をつけるべきことは何ですか。
- 問16 ニュース番組を作る時に、もっとも大切にしなければならないことは何ですか。
- 問17 なぜ、ニュース番組などの情報は、一つだけでなく複数の新聞やテレビ局のものを見る必要があるのでしょうか。
- 問18 大きな災害が起きたとき、なぜ東京にある「キー局」だけでなく、各地の「ローカル局」が協力して情報を伝える必要があるのでしょうか。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え ルールを確認し、自分だけで判断できないときは大人に相談する	インターネット上の音楽や画像には、それを作った人の権利（著作権）がある場合があります。勝手に使うとトラブルになる可能性があるため、まずは正しいルールを確認し、迷ったり判断に困ったりしたときは、必ず周りの大人に相談することが大切です。
問2	答え 号外	大きなニュースや災害が発生した際、すぐに情報を届けるために臨時に発行される新聞を「号外」と呼びます。地域の人々に大切な情報をいち早く伝えるための重要な手段です。
問3	答え ラジオ	ラジオは音声だけで情報を伝えるメディアです。映像がないため目を使う必要がなく、料理や運転などの作業をしながらでも、耳から情報を得ることができるという特徴があります。
問4	答え 緊急特番	災害などの緊急時には、視聴者にいち早く正確な情報を届けることが最優先されます。そのため、予定していた番組を変更し、緊急特番として情報を伝えます。
問5	答え どのニュースを番組で取り上げるかを話し合う	編集会議は、取材で得た多くの情報の中から、今、視聴者に伝えるべき大切な内容を選ぶために行われます。この会議で決まった内容をもとに、映像の編集が進められます。
問6	答え 衛星放送	宇宙にある人工衛星（じんこうえいせい）を使って電波を送る放送を「衛星放送」といいます。この方法を使うと、山の中や遠くの島など、ふつうの電波が届きにくい場所にも、一度に情報を届けることができます。
問7	答え 世界中の人に自分の考えをすぐ伝えることができること	インターネットは、遠くにいる人や世界中の人に対して、自分の考えや意見を瞬時に（すぐに）発信できるという大きな強み（特性）があります。ただし、だれでも発信できるため、インターネット上のすべての情報が正しいとは限らないことや、使うためにはパソコンやスマートフォン、通信の契約などが必要なことにも注意しましょう。
問8	答え 番組編成責任者	番組編成責任者は、たくさんの人がテレビを見る時間帯に合わせて、どのような順番で番組を放送するかを決定する大切な役割です。カメラマンは映像を撮る人、記者は情報を集める人、アナウンサーはニュースを伝える人と、それぞれ専門の役割分担があります。
問9	答え 一度出した情報は消すのがむずかしいこと	一度インターネット上に文章や写真を公開すると、誰かがその情報をコピーしたり保存したりするため、あとから完全に消すことはとても困難です。そのため、情報を発信するときは、誰かを傷つけるような内容ではないか、後で困るようなことはないか、よく考えてから操作することが大切です。
問10	答え 自分の書いた内容が誰かに影響を与えるかもしれないと考え、慎重に投稿すること	インターネットは多くの人がつながる場所であり、自分が何気なく投稿した言葉が、誰かを深く傷つけてしまったり、大きな誤解を生んだりすることがあります。小学生であっても、発信した内容に対して「自分の言葉に責任を持つ」という自覚を持つことが、情報社会で生きるために欠かせません。
問11	答え メディア	メディアとは、情報を受け手であるわたしたちに伝えるための手段や道具のことです。新聞やラジオ、テレビ、インターネットなどもすべてこのメディアに含まれます。
問12	答え デジタル放送	現代のテレビ放送は、デジタル技術を使うことで、より多くの情報を素早く正確に届けることができるデジタル放送が主流になっています。これによって、きれいな映像や音声を遠くまで送ることが可能になりました。
問13	答え コマーシャル	コマーシャルは、商品やサービスを多くの人に知ってもらうための宣伝映像のことです。テレビ局はこのコマーシャルを放送することで得られる費用を使って、番組を制作・放送しています。
問14	答え 名前や住所などの個人情報を載せないこと	インターネットに投稿した内容は世界中の誰でも見ることができるため、自分の住んでいる場所や名前などの「個人情報」が流出すると、思わぬ犯罪やトラブルに巻き込まれる危険性があります。まずは自分の身を守るためのルールを意識することが大切です。
問15	答え その情報が正しいかどうか	インターネット上には、間違った情報や、誰かを傷つけるような情報が混ざっていることがあります。情報の信頼性を確認せずに不用意に拡散してしまうと、社会に大きな影響を与えたり、トラブルの原因になったりするため、必ず確かめることが大切です。
問16	答え いろいろな視点から伝える	ニュースには、特定の一部の意見に偏らず、多角的な視点から公平に伝えることが求められています。そのため、情報の受け手である私たちは、一つの情報源だけを信じるのではなく、複数の視点から情報を確認し、冷静に判断することが大切です。
問17	答え 発信元によって内容が異なることがあるから	ニュースの発信元である新聞社やテレビ局によって、取り上げる内容や視点が異なることがあります。そのため、一つの情報をうのみにせず、いくつかの情報を比べながら冷静に判断することが、情報の正確さを見極めるために必要となります。
問18	答え 地域の細かい情報を集めて伝えるため	遠く離れた東京のテレビ局だけでは、被災地の細かい状況を把握することが難しい場合があります。地域に根ざしたローカル局が連携し、現場の正確な情報を伝えることで、より早く地域の安全を守る情報が届けられます。